

■ FDG-PET検査について ■

ブドウ糖と似た性質を持つFDGという物質を使って、ブドウ糖を大量に消費している組織(癌細胞など)の位置を画像にする検査です。

CTなど形態を調べる検査と違い「ブドウ糖消費量」という細胞の機能を画像にするので、CTなどでは形から推定するしかなかった組織の良性・悪性の判断が、かなりのレベルで行えるというのが特徴です。

また、ほぼ全身を一気に調べることが出来るというのも優れた特徴です。

但し、小さすぎる癌や特定の種類の癌の発見には必ずしも有効でないということが分っています。

また、脳に隠れて病気が見つけない頭部、情報量が少ないうえに調べようとすると検査時間が倍増する脚は当院では基本的に省略しています。

利点

- ・ほぼ全身を一気に調べられる。
- ・多くの癌の検出に有効。
- ・検査の苦痛が少ない。

欠点

- ・行っている施設が少ない。
- ・検査時間が長め。
- ・高血糖すぎると使えない。

検査当日の空腹時血糖150mg/dL前後は検査可能
200mg/dL近い場合は画像に影響

注意事項

- ・食事は検査6時間前から絶食
- ・水、お茶(麦茶、ウーロン茶、緑茶)は時間、量制限なし
- ・糖、カロリーの入っている点滴、注射、IVHは6時間前から中止
- ・G-CSF製剤は2週間前から中止

特に検出に向いている癌(100%見つかるわけではありません)

- ・頭頸部癌、肺癌、乳癌、膵癌、悪性リンパ腫

比較的検出しにくい癌(見つかる場合もあります)

- ・脳腫瘍、胃癌、肝癌、腎癌、前立腺癌、膀胱癌

通常は見つけやすいが、状況によって検出しにくいことのある癌

- ・大腸癌